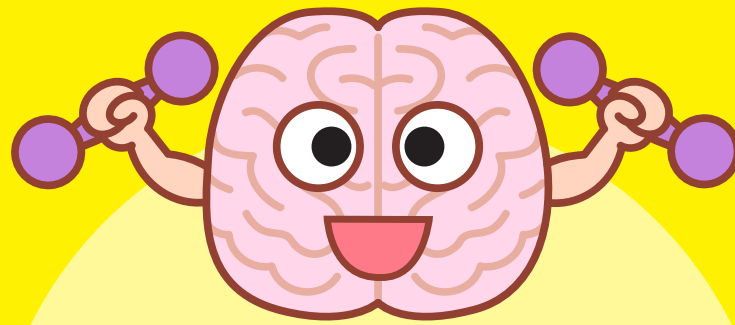


ハチ マル ニイ マル
8020で
アルツハイマー病予防



歯が少ない人は食べる時に
十分に噛むことができません。
咀嚼による脳への刺激が減ると、
脳の活性化が低下するという
研究もあります。



香川県と香川県歯科医師会が実施している「香川県歯の健康と医療費に関する実態調査」から、残っている歯が少ない人は、アルツハイマー病のリスクが高いことが明らかになりました。

8020運動とは… 厚労省と日本歯科医師会が推進している「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動



口腔内状況（現在歯数）と アルツハイマー病の発症状況について

調査概要

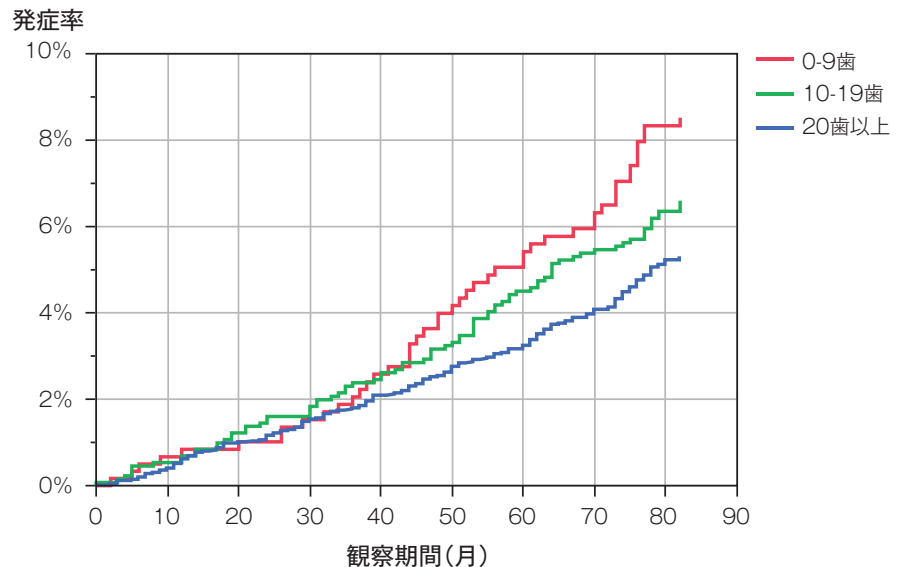
平成26年度の口腔内の状況（現在歯数）とその後6年間のアルツハイマー病の発症状況について調査

対象者

平成26年5月末日で65歳以上の者で同月中に歯科医院に来院した者（10,169名）

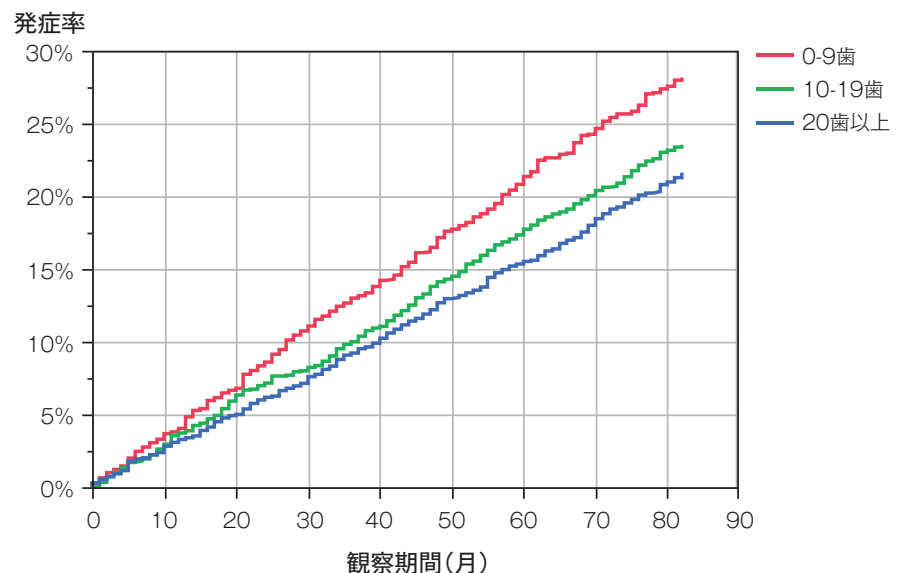
● 65歳～74歳（5,438名）

残っている歯が少ない人はアルツハイマー病になるリスクが高い
（9歯以下の方は20歯以上の人の**1.6倍**）



● 75歳以上（4,731名）

残っている歯が少ない人はアルツハイマー病になるリスクが高い
（9歯以下の方は20歯以上の人の**1.4倍**）



※残っている歯が少なくても治療で噛み合わせを治すことで認知症の発症リスクを抑制できる可能性があることが報告されています。

毎日のセルフケアと定期的なプロケアで
自分の歯を守りましょう！